

災害対策関係功労者表彰を伝達

昨年の台風19号では東北地方で大きな災害が発生しました。当事務所からはTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)が出動し、被災状況の調査や復旧に向けた支援を行いました。また、河川が氾濫し大規模な浸水被害が発生した茨城県内の歩道や排水側溝等に堆積した汚泥等の清掃作業(災害対策支援活動)を行うため、『坂本土木株式会社』『金子工業株式会社』『日産工業株式会社』を派遣し、連日、作業に尽力していただきました。

この顕著な功績に対し中部地方整備局長から表彰があったため、2月3日(月)、竹島所長が各社に伺い感謝状を伝達しました。支援活動に従事していただいた皆様、慣れない遠方の土地での大変な作業、本当にお疲れ様でした。

なお、TEC-FORCE隊の移動に際し車両運行業務を遂行していただいた『日本道路興運株式会社名古屋支店』は、1月27日に勢田局長から感謝状を贈呈されています。

坂本土木株式会社

- 派遣期間：R1.10.16～R1.10.30(15日間)
- 現地支援活動期間：R1.10.17～R1.10.29(13日間)
- 派遣場所：茨城県水戸市及び東茨城郡城里町並びに常陸大宮市



金子工業株式会社

- 派遣期間：R1.10.16～R1.10.23(8日間)
- 現地支援活動期間：R1.10.17～R1.10.22(6日間)
- 派遣場所：茨城県水戸市及び東茨城郡城里町



日産工業株式会社

- 派遣期間：R1.10.22～R1.10.30(9日間)
- 現地支援活動期間：R1.10.23～R1.10.29(7日間)
- 派遣場所：茨城県東茨城郡城里町及び常陸大宮市



～高校生による電気設備の工事見学～ (国道41号 宮峠トンネル事業)

2月13日(木)、**県立高山工業高校電気科**の1年生と2年生の生徒さん**約60名**を対象に、**宮峠トンネル**で行っている**電気設備の工事見学会**を開催しました。

トンネル内の設備説明

ジェットファンや消火設備など、実際に工事をしている施工業者が自分が担当する設備の説明を行いました。



トンネル入口付近の設備説明

トンネルの外にも設備はあります。普段は見ることが出来ない電気室の内部も見てもらいました。



さすがは**専門学科の生徒さん**なので、**専門知識を有する質問が多く出された**のが非常に印象的でした。

今回の見学会は電気設備の**施工業者さんからの提案**で実現しました。日常の色々な問題はありますが、とにかく若い皆様に現場を体感してもらえただけで「見学会やって良かった」と思っています。

<現在行っている主な電気設備工事>

防災設備、非常用設備、照明設備、換気設備、
受変電設備、通信設備、道路監視設備、遠方監視設備



～ 平成30年7月豪雨 災害復旧 ～ 下呂市小川地区〔仏洞〕災害復旧事業説明会

平成30年7月豪雨により土砂災害が発生した下呂市小川で、道路事業と治山事業の連携による災害復旧を進めてきています。岐阜県による治山災害復旧工事により、大規模な谷止め工の本体も概成してきたことから、地域のみなさんを対象に『災害復旧事業説明会』を開催しました。

日時：2020年2月5日（水）
13:00～14:00
参加者：小川地区住民 10名
説明者：高山国道事務所
岐阜県下呂農林事務所
下呂市



国土交通省によるパネル説明

国土交通省・岐阜県の担当者により、それぞれの災害復旧事業についてパネル説明を行いました。



治山災害復旧工事現場

岐阜県によるパネル説明

※ 岐阜県パネル説明の背景は、治山災害復旧工事現場です。

説明会では、災害現場上空をUAV（ドローン）飛行による空撮映像を地域のみなさんに観覧していただきました。

普段見られない災害現場全景から、災害復旧工事現場、平成30年7月豪雨による斜面崩壊現場付近を見られて災害復旧事業に関心をもっていただきました。



モニターによるUAV空撮ライブ映像観覧

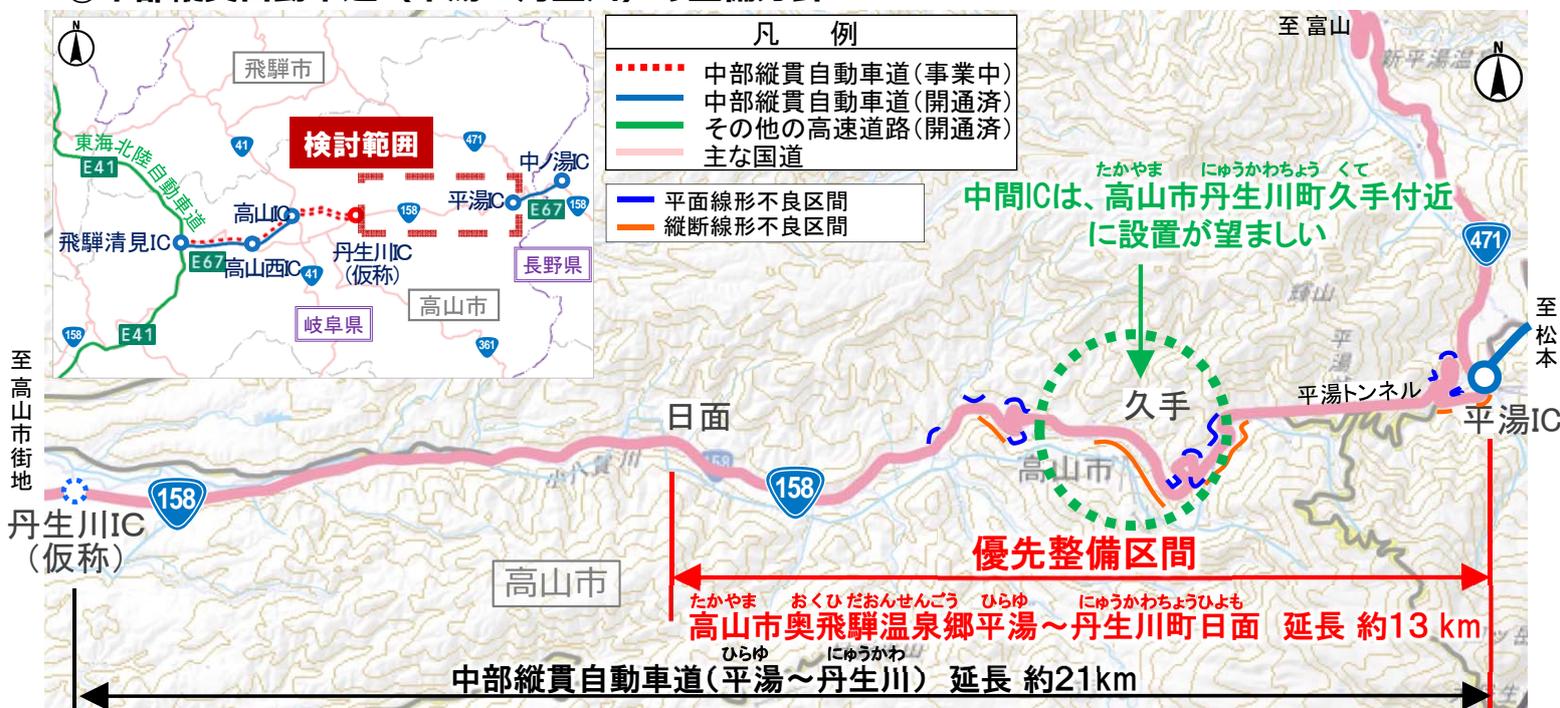
中部縦貫道平湯～丹生川間の優先整備区間を決定 ～急カーブ・急勾配の早期解消へ～

飛騨北部地域の現状と課題について、関係機関と共有し、中部縦貫自動車道(平湯～丹生川)の優先整備区間について議論しました。

■主な検討結果

- 北陸・中部・関東を結ぶ中部縦貫自動車は、高規格幹線道路ネットワーク整備の観点からも、岐阜県内のミッシングリンクである平湯～丹生川IC(仮称)間の整備が必要。
- 今回、並行する国道158号現道において線形不良箇所が多数存在するなど課題の大きい「平湯～日面」間を優先して整備することで、早期に課題解消を図る。
- 優先整備区間は、高山市奥飛騨温泉郷平湯～丹生川町日面に設定。
- 中間IC、高山市丹生川町久手付近に設置が望ましい。

①中部縦貫自動車道(平湯～丹生川)の整備方針



②冬期の国道158号の様子



③検討会の様子



走行時のフロントガラスの「くもり」 にご注意を！！

雨の日や寒い日にトンネルを走行すると、急にフロントガラスやヘルメットのシールド等が「くもる」場合があります。

これは、走行中に冷えたフロントガラスやヘルメットのシールド等が、トンネル内の暖かい空気に触れることによって生じる結露と考えられます。

<運転の際の注意点>

○お車の場合

慌てずにワイパーでくもりをとり、エアコン(デフロスタ)や側面窓ガラスを開けるなど外気との温度差を小さくすることで、くもりは徐々になくなります。

○自動二輪車の場合

トンネル進入時は安全な速度と余裕ある車間距離の確保をお願いします。また、走行前に市販されている「くもり止め剤」をシールド部分に塗っておくことをお勧めします。

冬の飛驒路は、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なります。
通行時は、車間距離を十分とって慎重な運転を心がけて下さい。



「冬のドライブなび中部」のご紹介

「冬のドライブなび中部」では各種の道路情報を発信中！！

降雪状況、路面状態、気象情報などお出かけ前にチェック!!

冬の飛驒路を安全・関心・快適なドライブを！！

ニーズに応じて各種情報を確認して下さい

①道路規制情報 ②地域別道路情報 ③ライブカメラ映像

・飛驒地域、美濃地域、1号鈴鹿峠、名阪国道、富士山周辺、御殿場周辺、長野県南部地域

④積雪・凍結情報 ⑤気象情報 ⑥冬装備の備え ⑦雪道の運転テクニック

<http://www.cbr.mlit.go.jp/road/fuyumichi.html>

ブックマークしておくとお便利です!

運転中の携帯電話の利用はお控え下さい(運転中に携帯電話を手で保持しての使用は法令違反です)



※インターネットで「冬のドライブなび中部」で検索していただければご利用できます。